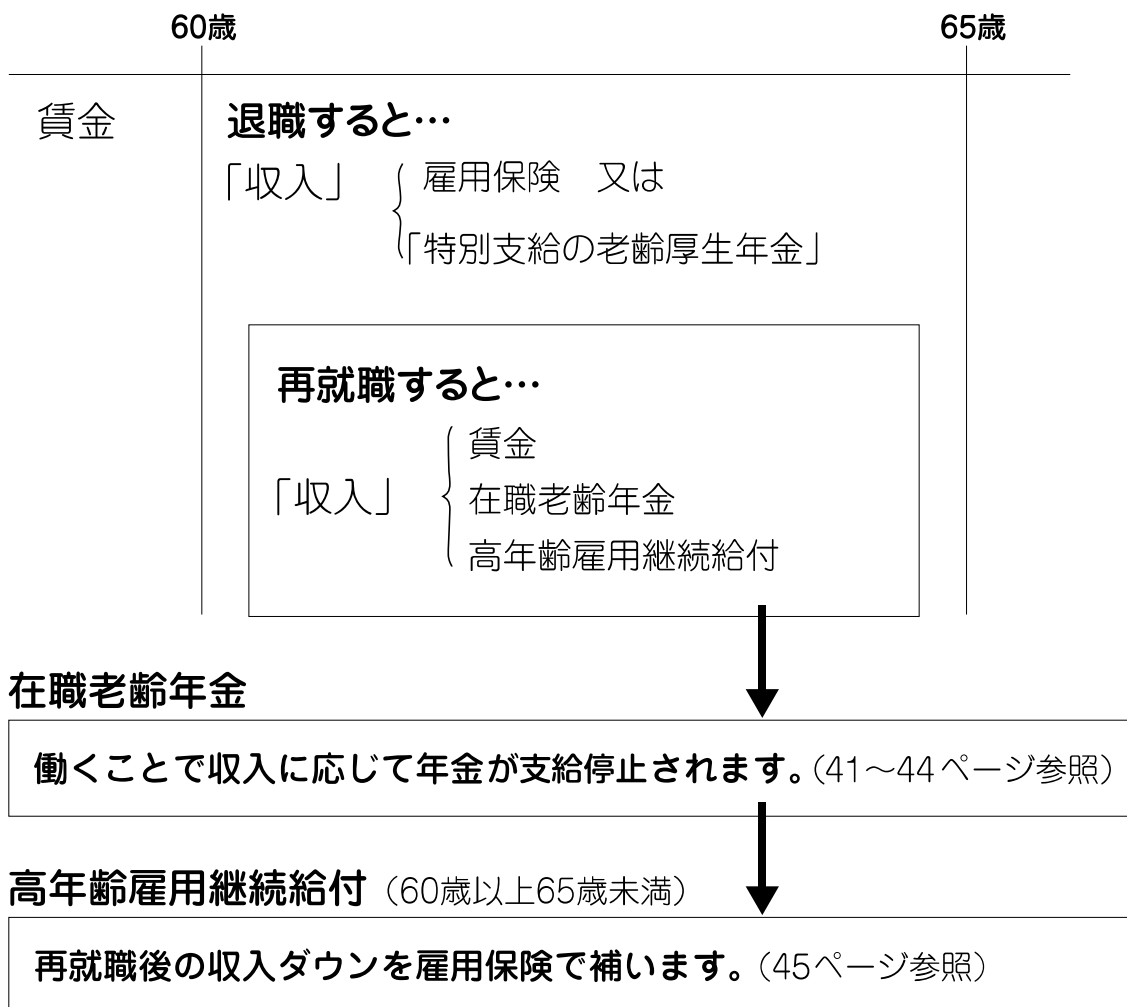


1. 再就職後の収入を考える

～60歳からの再就職～

60歳以上の方が仕事を探す場合、再就職後の収入として賃金のほか、公的年金や高年齢雇用継続給付についても考慮に入れる必要があります。



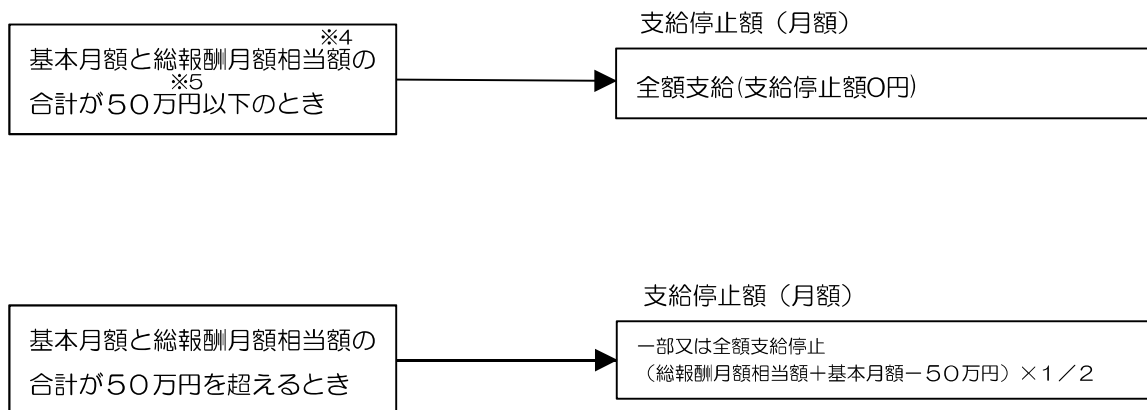
※個人の状況により、受給資格の有無やその受給額等については異なります。

2. 在職中の年金額は？

～在職老齢年金を受給して働く～

老齢厚生年金を受給できる60歳以上の方が、働いて厚生年金に加入した場合には、年金額（基本月額※1）と賃金（標準報酬月額※2）及び賞与（標準賞与額※3）の合計額によって年金の一部又は全額カットされ、「在職老齢年金」として支給されます。年金はどれくらいカットされるのでしょうか？（公的年金のしくみの概要については、54～59ページ参照。）

老齢厚生年金の月額がどれくらい減額されるかは、「基本月額」と「賃金」及び「過去1年間の賞与」の関係で次の表のように決まります。



※1基本月額とは、加給年金額を除いた老齢厚生年金（報酬比例部分）の月額。

※2標準報酬月額とは、労務の対償として受ける報酬をいくつかの等級に区分した仮の報酬。

※3標準賞与額とは、実際の支給額から1,000円未満を切り捨てた額。上限150万円。

※4総報酬月額相当額＝その月の標準報酬月額＋（その月以前の1年間に受けた標準賞与額の合計×1/12）

※5在職老齢年金の支給停止基準額（50万円）は令和6年4月現在のものです。

◇例え

〔図表-10 パターンA〕

標準報酬月額（賃金）20万円、年金（月額）20万円、過去1年間の賞与額60万円

- ・基本月額：20万円（年金）
 - ・総報酬月額相当額の計算：20万円（賃金）+60万円×1/12=25万円
- } 合計
50万円以下

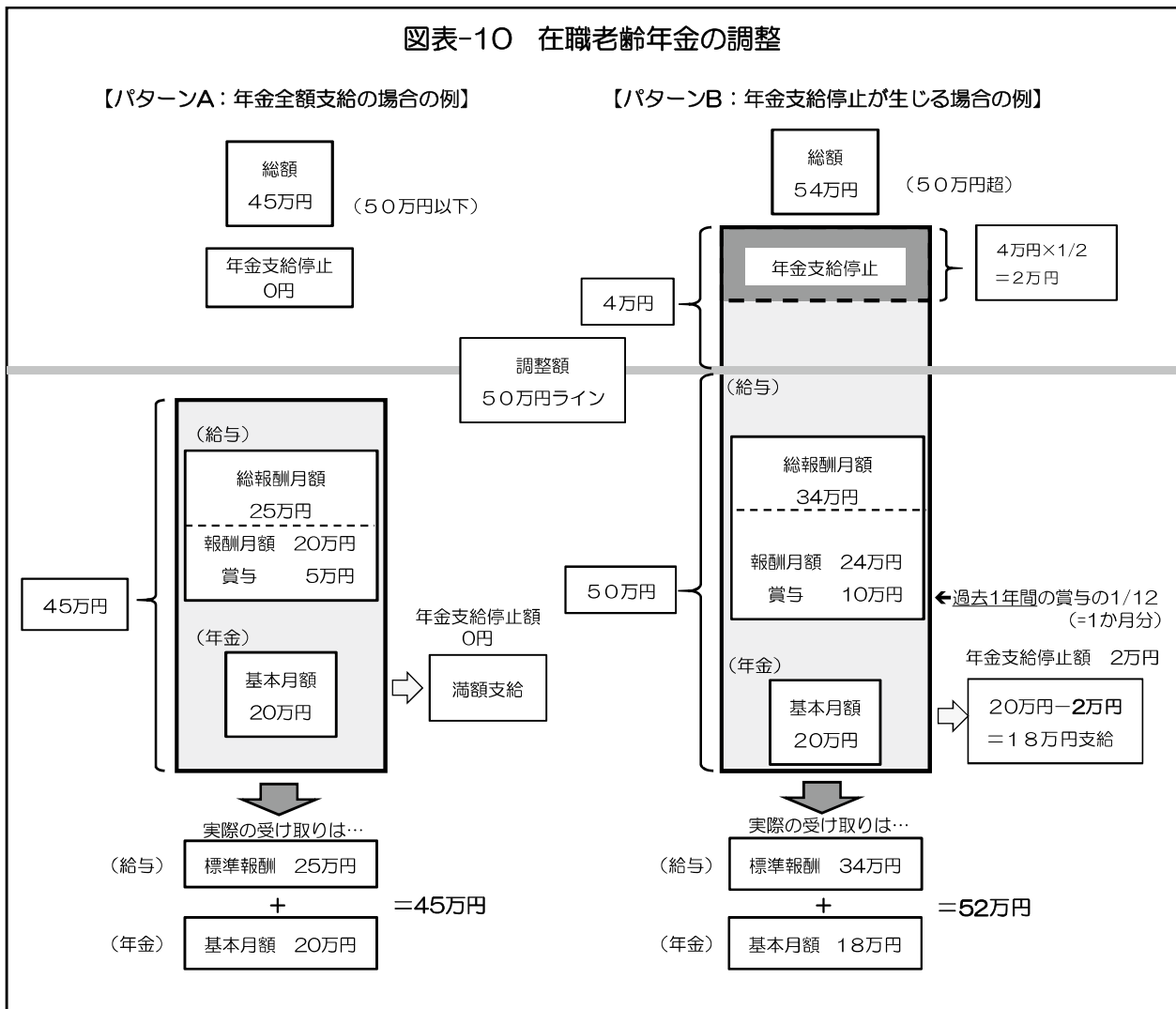
○在職老齢年金額：全額支給=20万円

〔図表-10 パターンB〕

標準報酬月額（賃金）24万円、年金（月額）20万円、過去1年間の賞与額120万円

- ・基本月額：20万円（年金）
 - ・総報酬月額相当額の計算：24万円（賃金）+120万円×1/12=34万円
- } 合計
50万円超

○在職老齢年金額：20万円-(34万円+20万円-50万円)×1/2=18万円



各年代における注意点

(1) 60歳以上65歳未満

① 高年齢雇用継続給付との調整

高年齢雇用継続給付（45ページ参照）を受給した月について、「標準報酬月額」の6%相当額を限度に、減額して在職老齢年金が支給されます。

② 厚生年金に加入しながら在職老齢年金を受給している方が退職されたときは、在職中の厚生年金被保険者期間を加えて年金額が再計算されます。

(2) 65歳以上70歳未満

① 老齢基礎年金は全額支給されます。

② 厚生年金に加入しながら在職老齢年金を受給している方が退職されたときは、在職中の厚生年金被保険者期間を加えて年金額が再計算されます。

(3) 70歳以上

① 老齢基礎年金は全額支給されます。

② 70歳以上の期間は、厚生年金に加入していないため年金額の計算には反映しません。

◆在職老齢年金早見表◆

(単位：万円)

| 総報酬月額相当額 年金月額 | 16万円 | 18万円 | 20万円 | 22万円 | 24万円 | 26万円 | 28万円 | 30万円 | 32万円 | 34万円 | 36万円 | 38万円 | 40万円 |
|------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 5万円 | 5.0 | 5.0 | 5.0 | 5.0 | 5.0 | 5.0 | 5.0 | 5.0 | 5.0 | 5.0 | 5.0 | 5.0 | 5.0 |
| 6万円 | 6.0 | 6.0 | 6.0 | 6.0 | 6.0 | 6.0 | 6.0 | 6.0 | 6.0 | 6.0 | 6.0 | 6.0 | 6.0 |
| 7万円 | 7.0 | 7.0 | 7.0 | 7.0 | 7.0 | 7.0 | 7.0 | 7.0 | 7.0 | 7.0 | 7.0 | 7.0 | 7.0 |
| 8万円 | 8.0 | 8.0 | 8.0 | 8.0 | 8.0 | 8.0 | 8.0 | 8.0 | 8.0 | 8.0 | 8.0 | 8.0 | 8.0 |
| 9万円 | 9.0 | 9.0 | 9.0 | 9.0 | 9.0 | 9.0 | 9.0 | 9.0 | 9.0 | 9.0 | 9.0 | 9.0 | 9.0 |
| 10万円 | 10.0 | 10.0 | 10.0 | 10.0 | 10.0 | 10.0 | 10.0 | 10.0 | 10.0 | 10.0 | 10.0 | 10.0 | 10.0 |
| 11万円 | 11.0 | 11.0 | 11.0 | 11.0 | 11.0 | 11.0 | 11.0 | 11.0 | 11.0 | 11.0 | 11.0 | 11.0 | 10.5 |
| 12万円 | 12.0 | 12.0 | 12.0 | 12.0 | 12.0 | 12.0 | 12.0 | 12.0 | 12.0 | 12.0 | 12.0 | 12.0 | 11.0 |
| 13万円 | 13.0 | 13.0 | 13.0 | 13.0 | 13.0 | 13.0 | 13.0 | 13.0 | 13.0 | 13.0 | 13.0 | 12.5 | 11.5 |
| 14万円 | 14.0 | 14.0 | 14.0 | 14.0 | 14.0 | 14.0 | 14.0 | 14.0 | 14.0 | 14.0 | 14.0 | 13.0 | 12.0 |
| 15万円 | 15.0 | 15.0 | 15.0 | 15.0 | 15.0 | 15.0 | 15.0 | 15.0 | 15.0 | 15.0 | 14.5 | 13.5 | 12.5 |
| 16万円 | 16.0 | 16.0 | 16.0 | 16.0 | 16.0 | 16.0 | 16.0 | 16.0 | 16.0 | 16.0 | 15.0 | 14.0 | 13.0 |
| 17万円 | 17.0 | 17.0 | 17.0 | 17.0 | 17.0 | 17.0 | 17.0 | 17.0 | 17.0 | 16.5 | 15.5 | 14.5 | 13.5 |
| 18万円 | 18.0 | 18.0 | 18.0 | 18.0 | 18.0 | 18.0 | 18.0 | 18.0 | 18.0 | 17.0 | 16.0 | 15.0 | 14.0 |
| 19万円 | 19.0 | 19.0 | 19.0 | 19.0 | 19.0 | 19.0 | 19.0 | 19.0 | 18.5 | 17.5 | 16.5 | 15.5 | 14.5 |
| 20万円 | 20.0 | 20.0 | 20.0 | 20.0 | 20.0 | 20.0 | 20.0 | 20.0 | 19.0 | 18.0 | 17.0 | 16.0 | 15.0 |
| 21万円 | 21.0 | 21.0 | 21.0 | 21.0 | 21.0 | 21.0 | 21.0 | 20.5 | 19.5 | 18.5 | 17.5 | 16.5 | 15.5 |
| 22万円 | 22.0 | 22.0 | 22.0 | 22.0 | 22.0 | 22.0 | 22.0 | 21.0 | 20.0 | 19.0 | 18.0 | 17.0 | 16.0 |
| 23万円 | 23.0 | 23.0 | 23.0 | 23.0 | 23.0 | 23.0 | 22.5 | 21.5 | 20.5 | 19.5 | 18.5 | 17.5 | 16.5 |

(注) 年金月額とは、老齢厚生年金額（報酬比例部分）から加給年金額を除いたものの1か月分。

(表の見方) 42ページの例では、総報酬月額相当額34万円 {賃金24万円+賞与(120万×1/12)}、年金月額20万円が交差する18万円が在職老齢年金となり、賃金と合わせて52万円が収入合計となる。

3. 高年齢雇用継続給付とは？

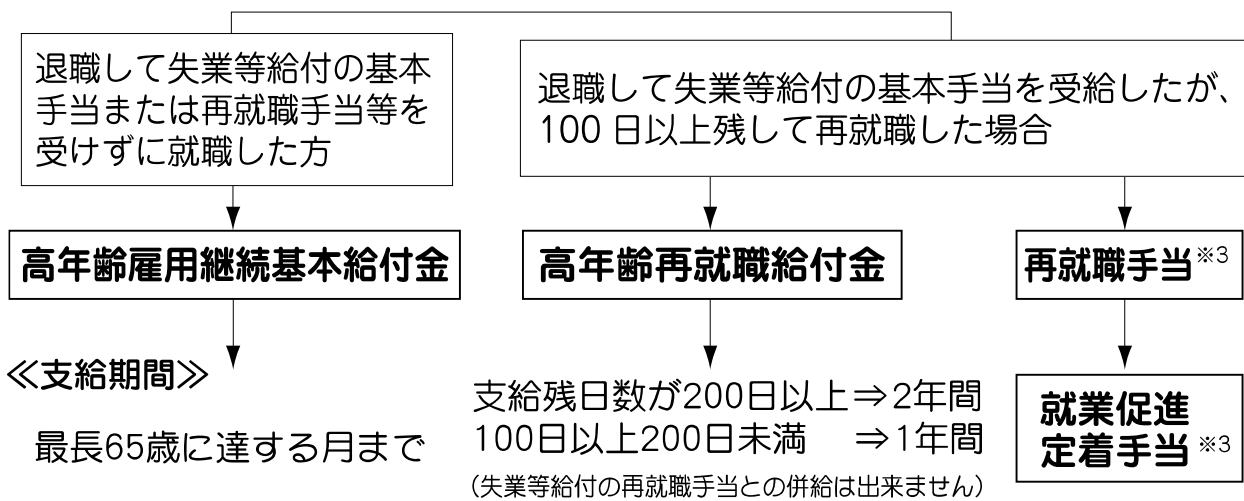
～再就職後の収入ダウンを補う～

「高年齢雇用継続給付」とは、60歳以上65歳未満の雇用保険の被保険者である人が、60歳(又は離職)時点より賃金が一定割合以上低下した状態で働いている場合、受給できるものです。

下記の支給条件を満たした場合、再就職後の賃金の低下率に応じて、低下した賃金の最大15%の給付が受けられます。(令和7年4月から10%)

《支給要件》

- ①60歳以上65歳未満の被保険者であること。
- ②60歳(又は離職)時点で、雇用保険の「被保険者であった期間」が通算して5年以上あること。^{※1}
- ③60歳(又は離職)時点と比べて、再就職後の賃金(「支給対象月に支払われた賃金」)が75%未満に低下していること。^{※2}



※1 「5年以上」とは、過去に失業等給付の基本手当や再就職手当等を受けたことがある場合は、その受給後の期間となります。また、60歳時点で5年間に満たない場合は、5年に達した日を60歳到達時とみなし、その時点の賃金が60歳到達時等の賃金として登録されます。

※2 60歳到達時等に受けていた賃金には上限額が設けられており、494,700円(令和6年8月1日現在、毎年8月に見直しがあります。)を超える場合は、494,700円から75%未満に低下した場合に該当するということになりますのでご注意ください。

※3 支給要件がありますので、詳細についてはハローワークにお問い合わせください。

支給を受けるには、事業主に対し、支給を受けたい旨を申し出た上で、支給申請書等を事業所管轄のハローワークに提出することが必要です。詳細については、最寄りのハローワークにお問い合わせください。

4. 収入のシミュレーション

～賃金・在職老齢年金・高年齢雇用継続給付の併給～

それでは、年金を受給しながら働く場合の収入のシミュレーションをしてみましょう。再就職した場合の賃金等によって、手取り収入額は次のようになります。

現在、私は62歳です。
年金額は年間120万円（月額10万円）、被扶養者が1名います。
私の手取り収入額はどれくらいになるのでしょうか？



■パターン①

60歳で定年退職して雇用保険を受けながら仕事を探し、61歳で再就職をしました。定年退職時の賃金月額額は42万円でした。再就職後は、賞与・通勤手当ともに支給はありません。

(単位：円)

| 収入 | | | 併給調整・保険料・所得税 | | | | |
|---------|-------------------|--------|---------------|-----------|-------|-----------|---------|
| ① 賃金 | ② 在職老齢年金 | ③ 継続給付 | ④ ②と③の併給調整の結果 | ⑤ 本人負担保険料 | | ⑥ 給与源泉所得税 | ⑦ 手取収入 |
| | | | | 社会保険 | 雇用保険 | | |
| 150,000 | 100,000 (全額支給) | 0 | — | 22,680 | 900 | 430 | 225,990 |
| 260,000 | 100,000 (全額支給) | 0 | — | 39,312 | 1,560 | 3,860 | 315,268 |
| 360,000 | 100,000 (全額支給) | 0 | — | 54,432 | 2,160 | 6,860 | 396,548 |

■パターン②

60歳で定年退職後、引き続き同じ企業で継続雇用されています。60歳に達した時の賃金月額額は42万円でした。過去1年間の賞与額は合計12万円、通勤手当が2万円支給されています。

(単位：円)

| 収入 | | | 併給調整・保険料・所得税 | | | | |
|-----------------|-------------------|--------|---------------|-----------|-------|-----------|-------------------|
| ① 賃金 ※通勤手当含む | ② 在職老齢年金 | ③ 継続給付 | ④ ②と③の併給調整の結果 | ⑤ 本人負担保険料 | | ⑥ 給与源泉所得税 | ⑦ 手取収入 ※通勤手当含む |
| | | | | 社会保険 | 雇用保険 | | |
| 170,000 | 100,000 (全額支給) | 25,500 | −10,200 | 25,704 | 1,020 | 330 | 258,246 |
| 280,000 | 100,000 (全額支給) | 22,876 | −9,150 | 42,336 | 1,680 | 3,720 | 345,990 |
| 400,000 | 95,000 | 0 | — | 61,992 | 2,400 | 7,350 | 423,258 |

※パターン①では、再就職後の継続給付は受給資格を満たさないケースを想定しています。

※上記の表はあくまでもモデルケースです。(雇用保険については、令和6年9月1日時点での料率を元に算出しています。)

詳細につきましては、年金事務所・ハローワーク・税務署へお問い合わせください。